

令和5年度 第1回 茨木市総合交通戦略協議会 (参考資料)

< 目 次 >

- | | |
|---------------|----|
| 1. 茨木市の概況 | 1 |
| 2. 茨木市の交通について | 11 |

令和5年7月26日
茨 木 市

1. 茨木市の概況

(1) 立地特性

【人口】 287,730人（R2国勢調査）

【位置】 大阪府の北部
（大阪市中心部から20km圏内）

【面積】 76.52km²
（東西 10.07km、南北17.05km）

【地勢】 北部：老の坂山地
南部：三島平野（大阪平野の一部）

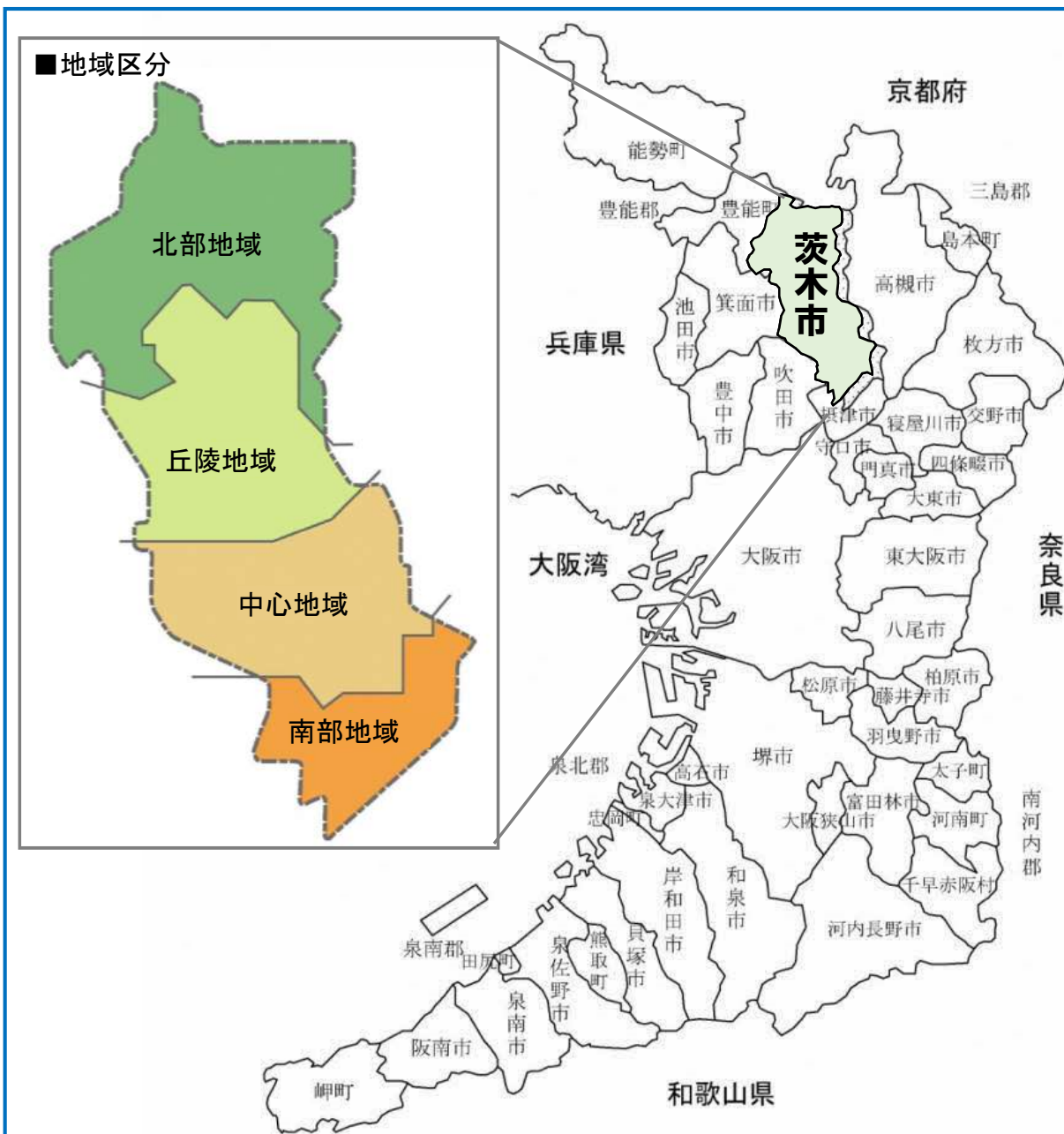
【土地利用の状況】

北部地域：自然環境に恵まれ、山林の緑と一体となった田園景観を残す

丘陵地域：歴史に残る名所や旧跡が点在、大規模住宅団地や学校施設、企業の研究施設等が多く立地

中心地域：商業、業務機能が集積
住宅地や幹線道路沿道での工場、流通業務地など、多様な機能が立地

南部地域：土地区画整理事業などにより形成された新市街地
幹線道路沿道には中央卸売市場をはじめ、多くの工場、流通業務施設が立地



1. 茨木市の概況

(2) 交通特性

◇京阪神を繋ぐ国土軸上に位置し、大阪府内を結ぶ地域幹線軸が縦横に交差する、広域的な交通条件に恵まれた地域。

【国土幹線道路】

- ・名神高速道路
- ・新名神高速道路
- ・近畿自動車道

【広域幹線道路】

- ・国道171号
- ・大阪中央環状線
- ・大阪高槻京都線 など

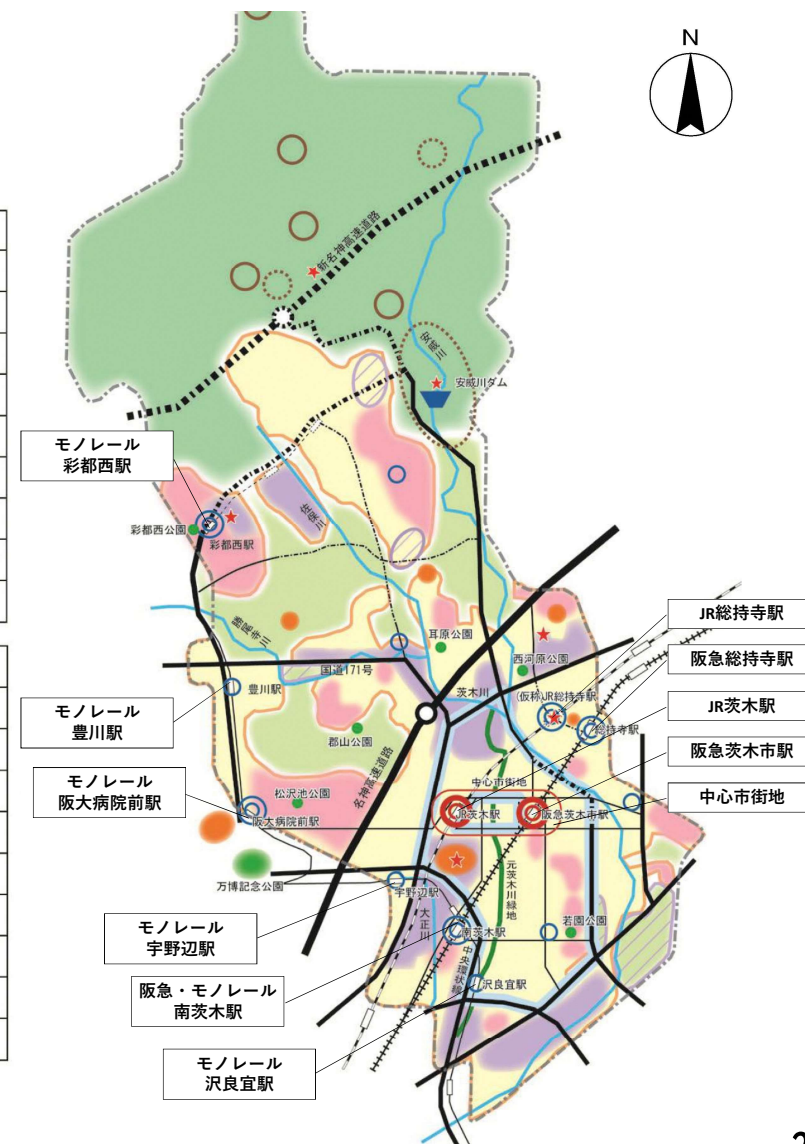
【鉄道及び駅】

- ・JR 東海道本線
茨木駅、総持寺駅
- ・阪急電鉄 京都線
総持寺駅、茨木市駅、南茨木駅
- ・大阪モノレール
沢良宜駅、南茨木駅、宇野辺駅、
阪大病院前駅、豊川駅、彩都西駅

■都市構造図

都市構造区分 凡例			
①	中心市街地(都市拠点)	都市拠点	
②	地域拠点・生活拠点	地域拠点	
		生活拠点	
③	北部地域	交流拠点	
		将来的に整備予定の交流拠点	
④	産業集積地域	産業集積地域	
		立地ポテンシャルを活かした土地利用の検討エリア	
⑤	一団の住宅地		
⑥	市街地に隣接したみどり		

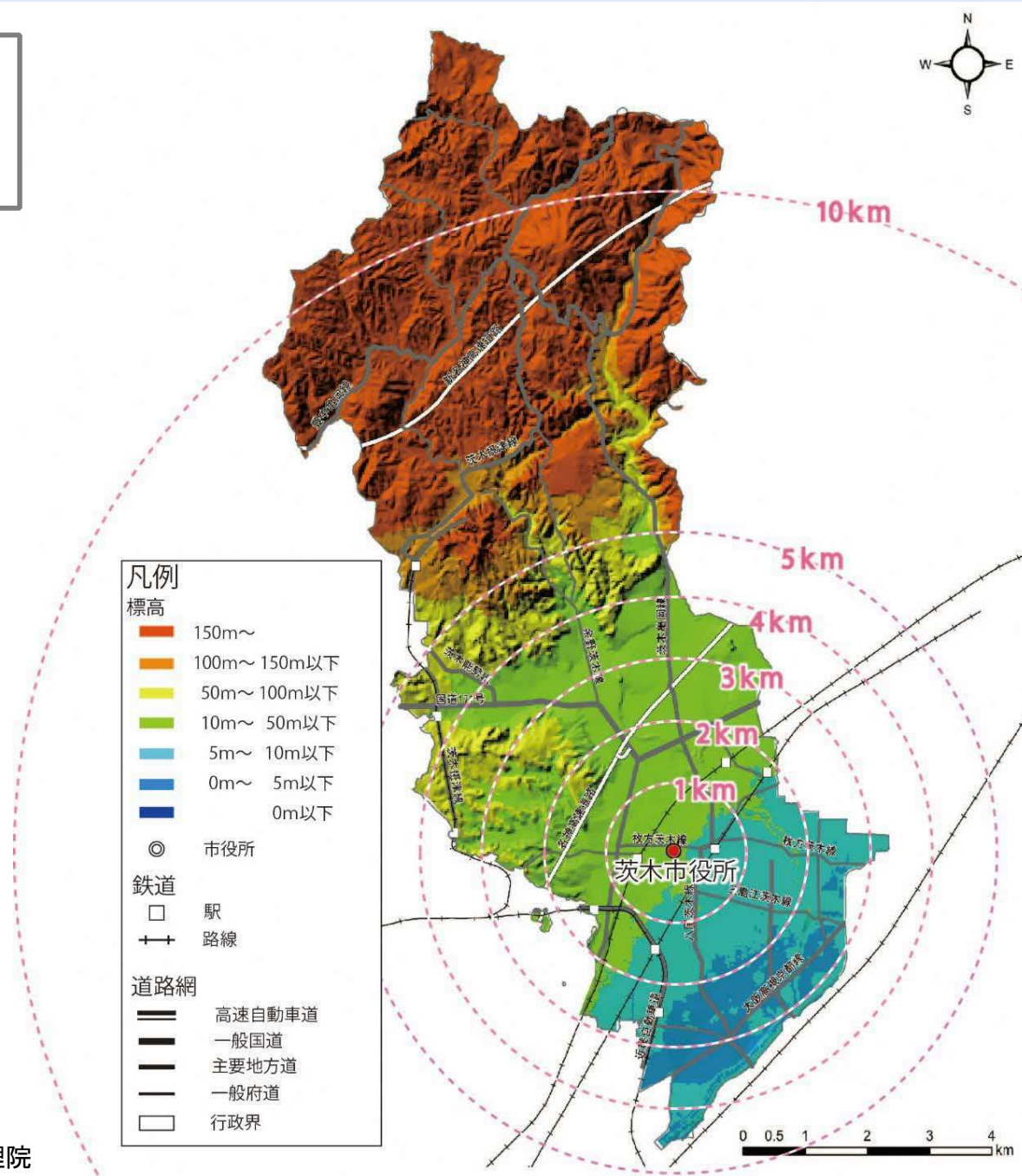
凡 例	
国土幹線道路	計画
主要幹線道路	計画
地域幹線道路	計画
環状道路	
河川	
市街化区域	
総合公園・地区公園・緑地	
大学が立地するエリア	
本市の魅力・強みを活かす新たな拠点	



1. 茨木市の概況

(3) 地勢

- ◇中心地域と南部地域は平野が広がり、茨木市役所から概ね4km圏内に収まる。
- ◇また、北部地域は大半が山地である。



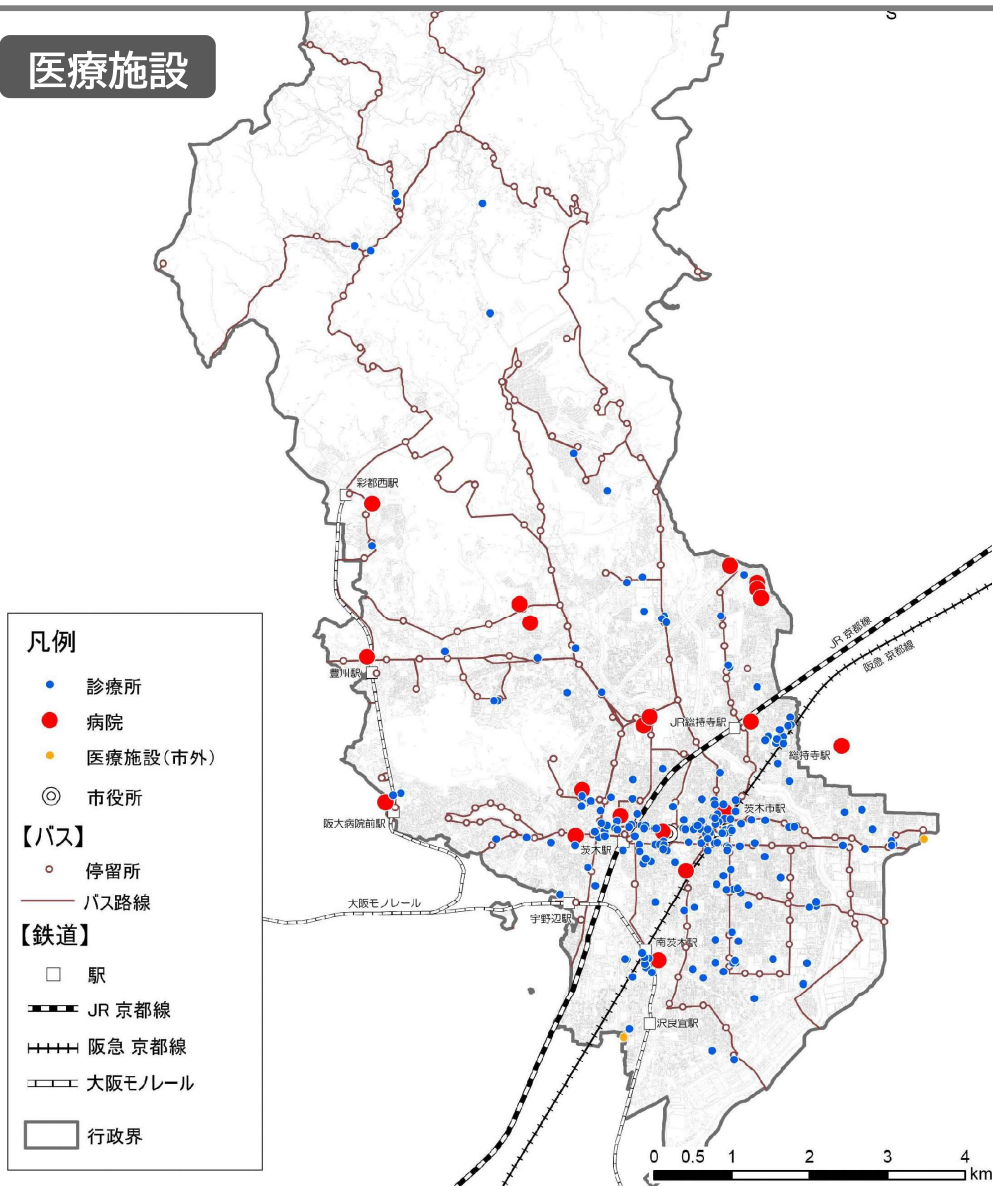
1. 茨木市の概況

(4) 主要施設の分布状況

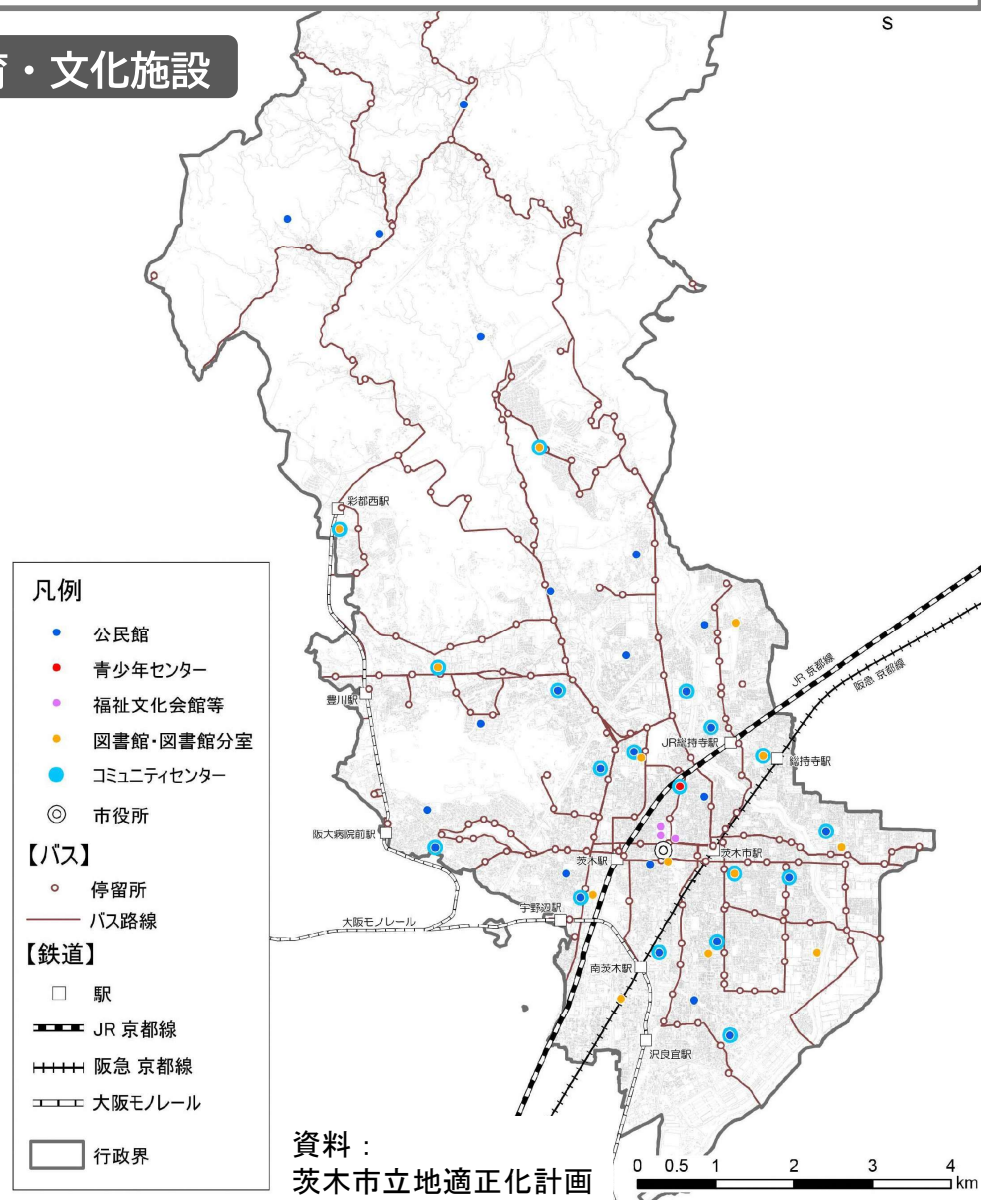
◇本市の医療施設は、茨木駅、茨木市駅の近辺に集中。山間部には病院がなく、診療所が点在。

◇教育文化施設は、コミュニティセンターが平野部に集まり、山間部は公民館が立地。

医療施設



教育・文化施設



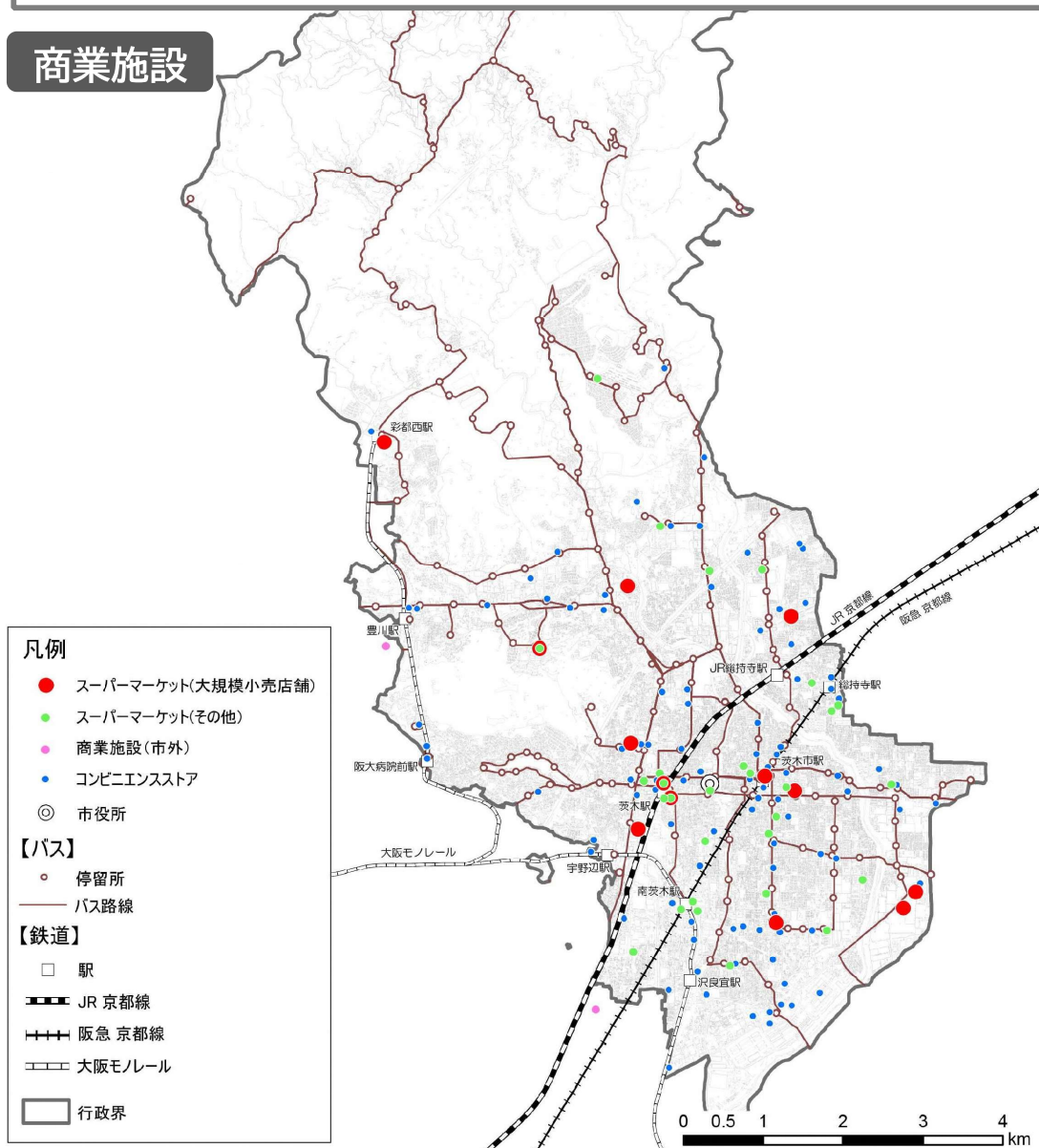
資料：
茨木市立地適正化計画

1. 茨木市の概況

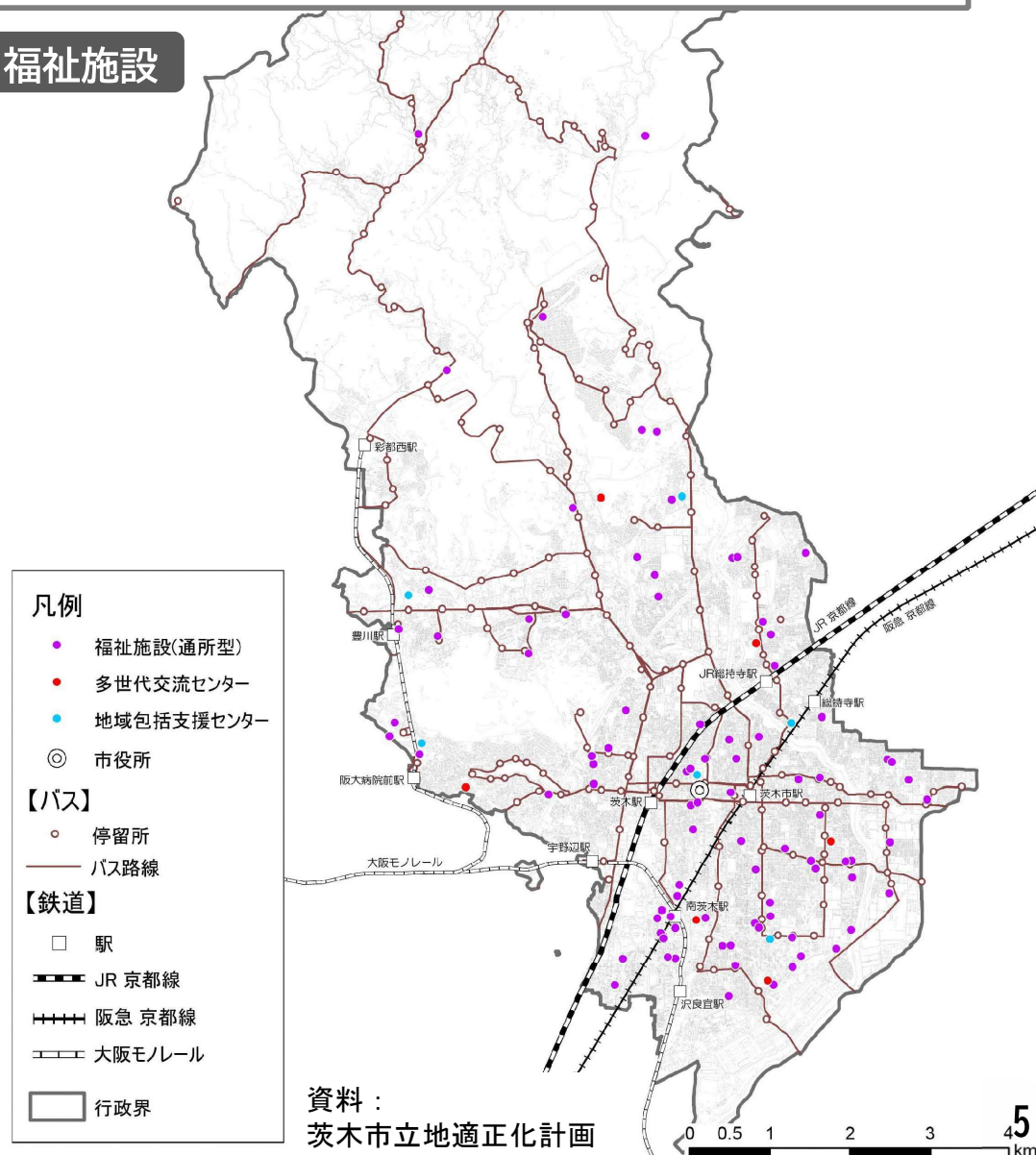
(4) 主要施設の分布状況

- ◇商業施設は、茨木駅や茨木市駅等鉄道駅の近辺に多く、大型店舗は彩都を含んだ市内各地に立地。
- ◇福祉施設は、平野部を中心に、鉄道駅やバス路線の近くに立地。

商業施設



福祉施設

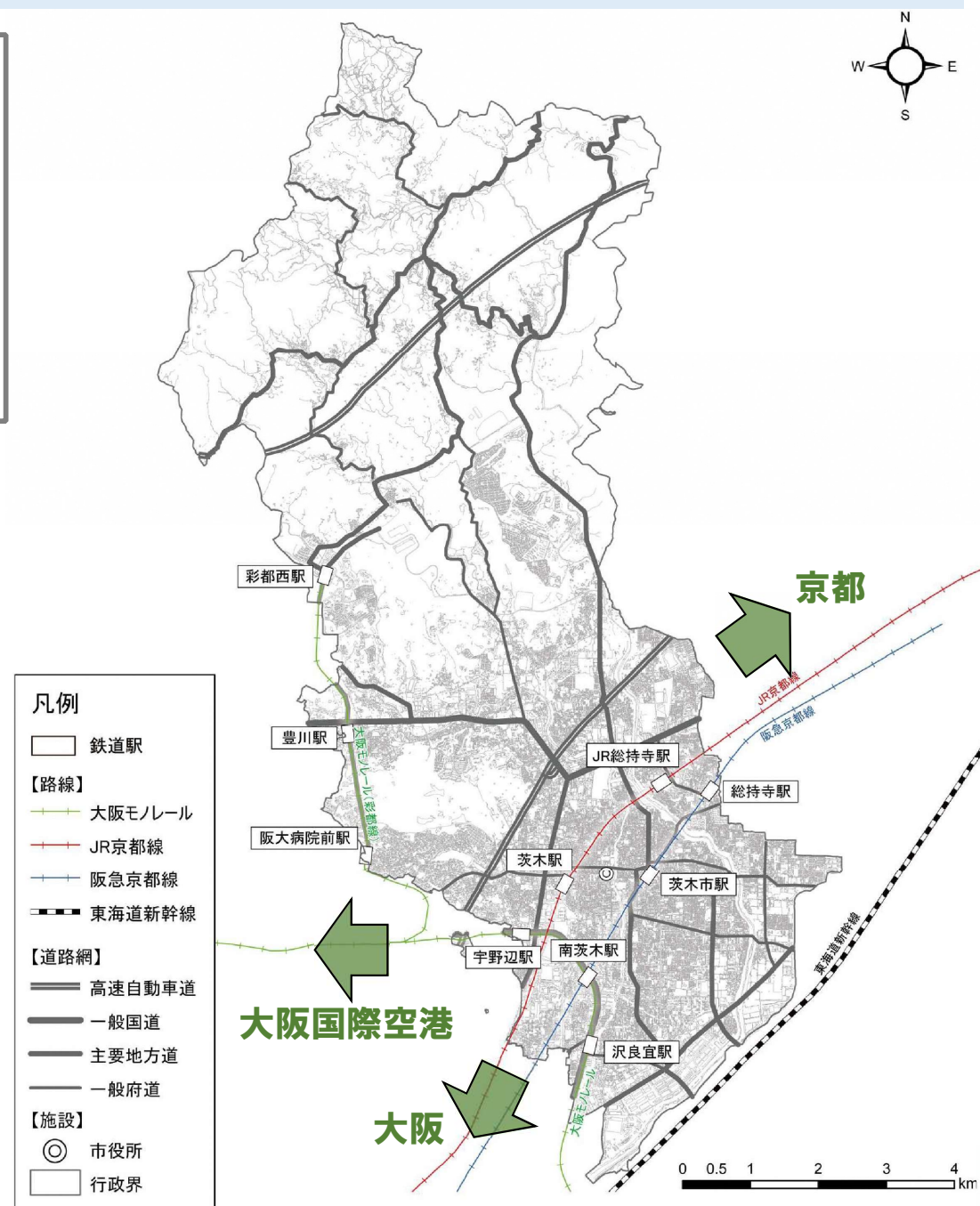


資料：
茨木市立地適正化計画

1. 茨木市の概況

(5) 交通基盤

- ◇京阪神を繋ぐ国土軸上に位置し、大阪府内を結ぶ地域幹線軸が縦横に交差する、広域的な交通環境に恵まれた地域。
- ◇鉄道は3社が運行しており、大阪市内や京都市内、大阪国際空港等にアクセスしている。
- ◇近年、JR総持寺駅や新名神高速道路が整備され、利便性が向上。

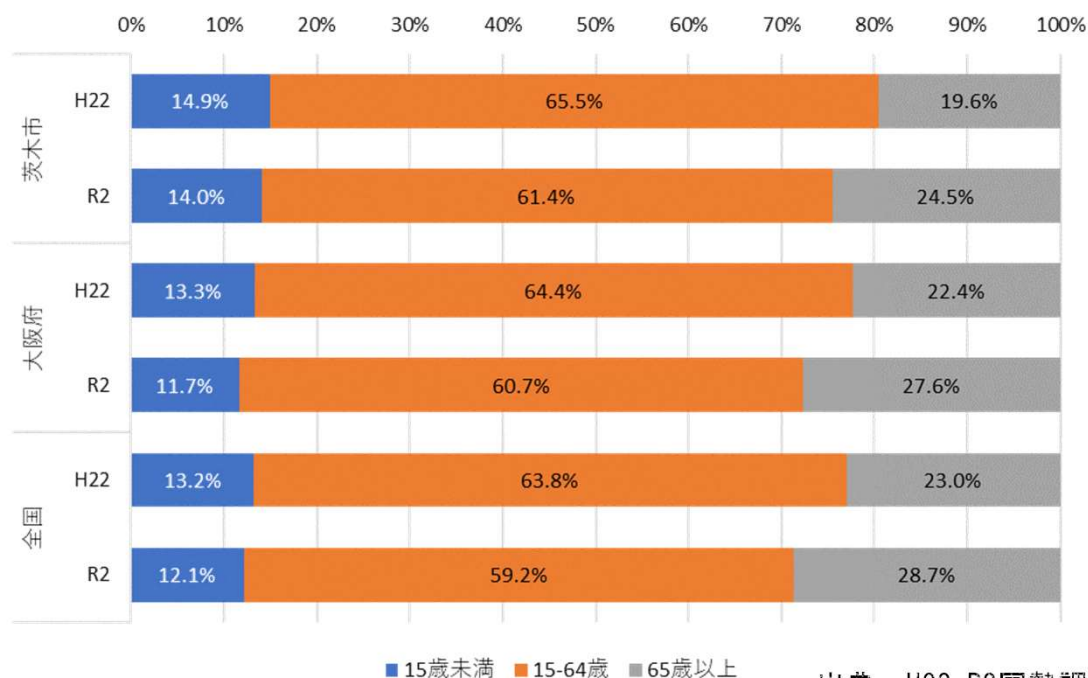


1. 茨木市の概況

(6) 高齢化率

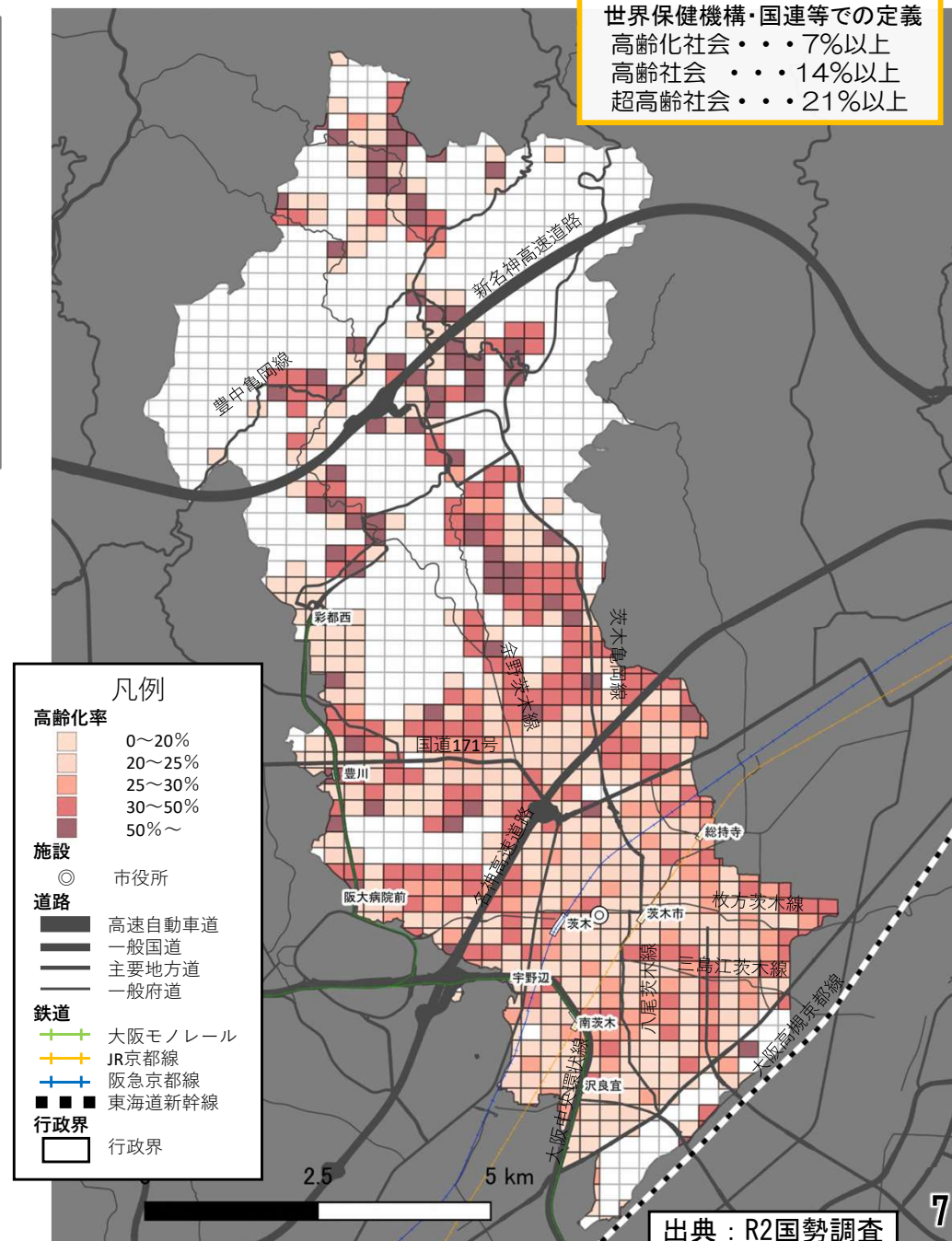
- ◇茨木市は、大阪府・全国平均と比較すると高齢化率は低いものの、ここ10年において高齢化率は増加している。
- ◇市内を地域別にみると、北部地域において高齢化率が高い。
- ◇昭和30～40年代に開発された団地では、高齢化が進展しており、その後開発された団地においても、今後高齢化の急激な進展が予想される。

茨木市と大阪府・全国の高齢化率



出典：H22, R2国勢調査

■ 高齢化率の目安
世界保健機構・国連等での定義
高齢化社会・・・7%以上
高齢社会・・・14%以上
超高齢社会・・・21%以上

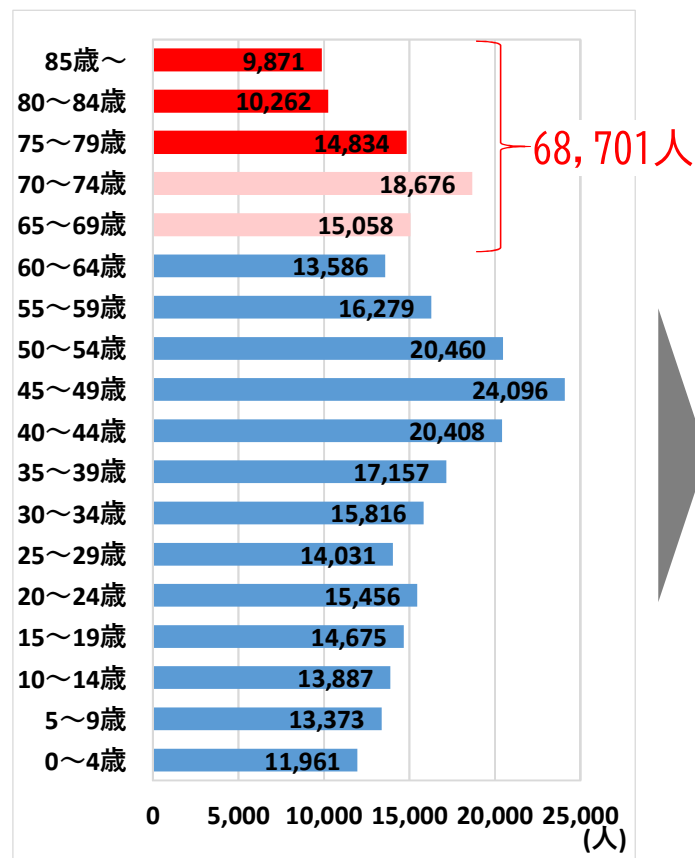


1. 茨木市の概況

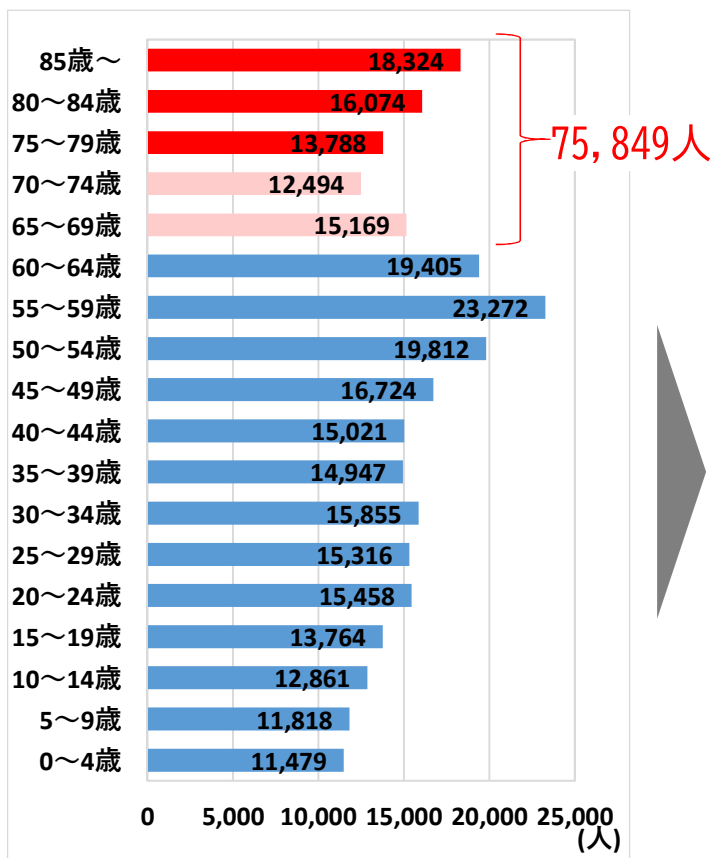
(7) 高齢化(予測値)

◇現在、約6.9万人の高齢者が市内に常住しており、今後10年間で約0.7万人（約1.1倍）増加し、約7.6万人（高齢化率約27%）になると推計されている。

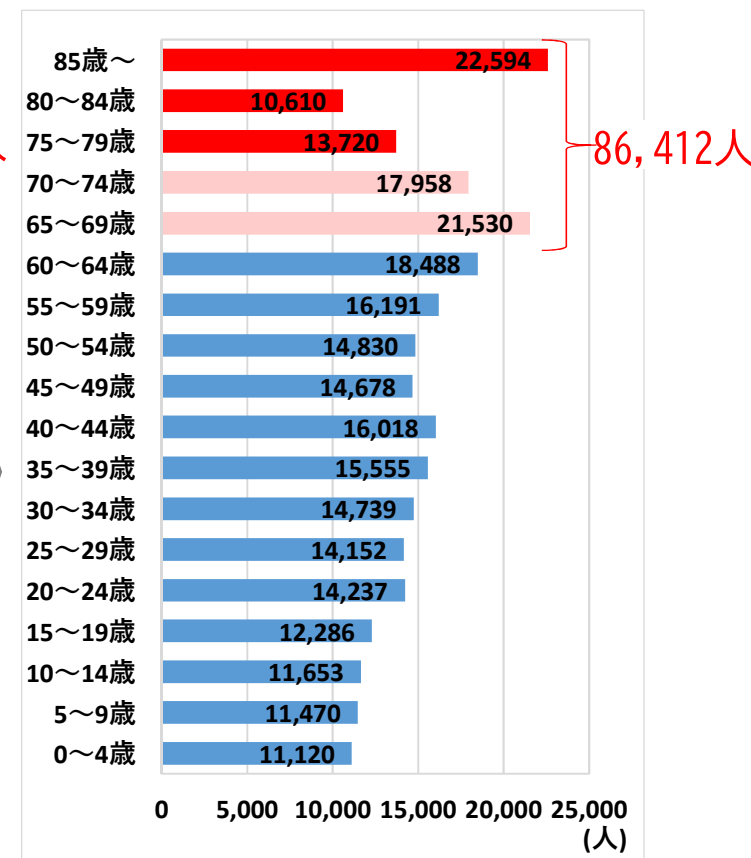
■R2国勢調査
高齢化率 23.9%



■概ね10年後 (R12)
高齢化率 26.9%



■概ね20年後 (R22)
高齢化率 31.8%



出典：R2国勢調査

R12, R22人口は、出典：『日本の市区町村別将来推計人口』、国立社会保障・人口問題研究所

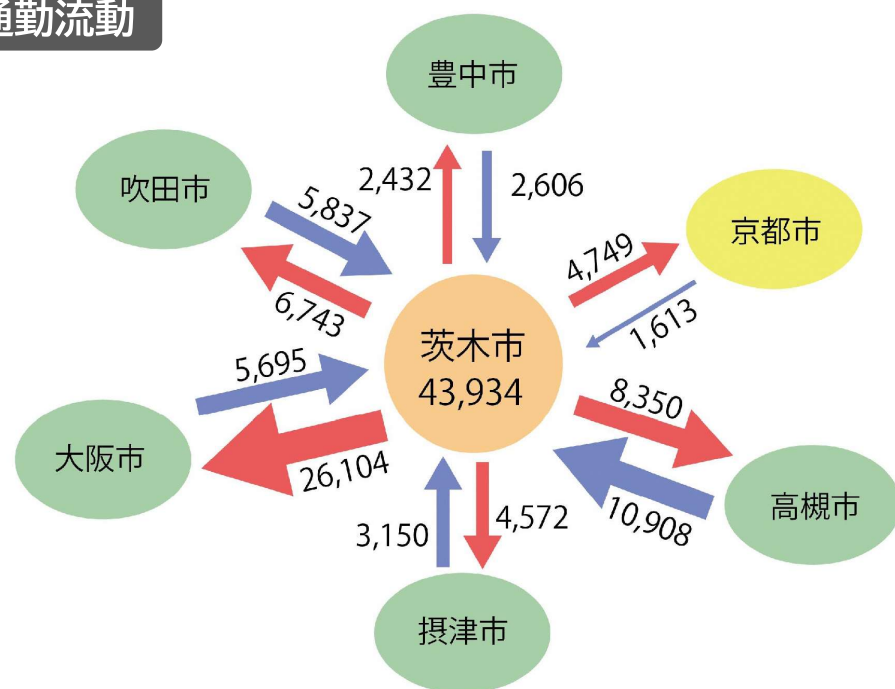
1. 茨木市の概況

(8) 通勤・通学流動

◇市に常住する就業者・通学者のうち、それぞれ6割以上が市外に通勤・通学をしている。

◇一方で、他市から茨木市への就業者・通学者も多い。

通勤流動



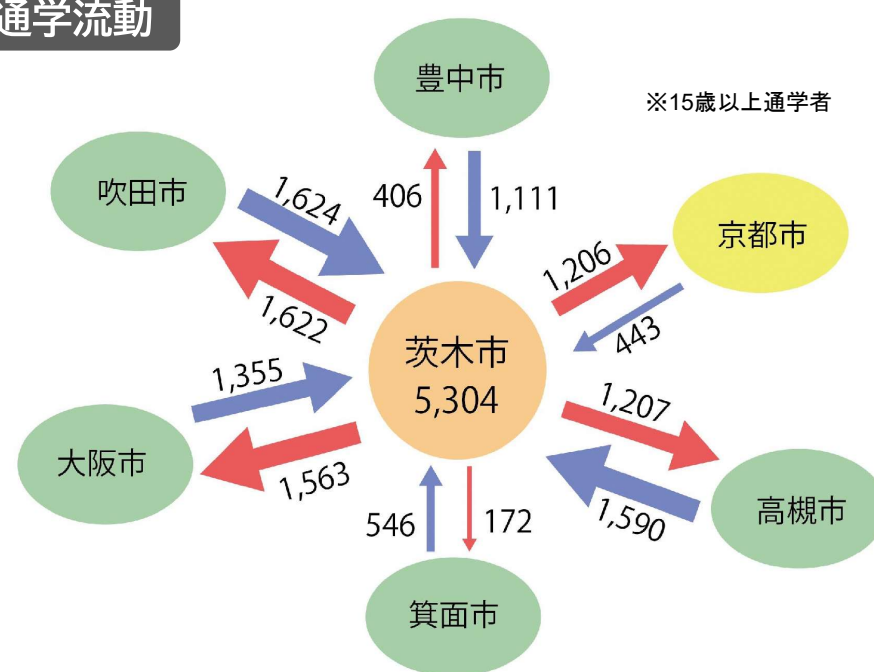
<茨木市 通勤流入>

茨木市内就業及び通勤流入上位5位		
市町村名	人数	割合
茨木市	43,934	47.5%
高槻市	10,908	11.8%
吹田市	5,837	6.3%
大阪市	5,695	6.2%
摂津市	3,150	3.4%
豊中市	2,606	2.8%

<茨木市 通勤流出>

茨木市内就業及び通勤流出上位5位		
市町村名	人数	割合
茨木市	43,934	37.8%
大阪市	26,104	22.5%
高槻市	8,350	7.2%
吹田市	6,743	5.8%
京都市	4,749	4.1%
摂津市	4,572	3.9%

通学流動



※15歳以上通学者

<茨木市 通学流入>

茨木市内就学及び通学流入上位5位		
市町村名	人数	割合
茨木市	5,304	31.0%
吹田市	1,624	9.5%
高槻市	1,590	9.3%
大阪市	1,355	7.9%
豊中市	1,111	6.5%
箕面市	546	3.2%

<茨木市 通学流出>

茨木市内就学及び通学流出上位5位		
市町村名	人数	割合
茨木市	5,304	36.7%
吹田市	1,622	11.2%
大阪市	1,563	10.8%
高槻市	1,207	8.3%
京都市	1,206	8.3%
豊中市	406	2.8%

(9) 茨木市の概況まとめ

【地勢】

- ・ 中心地域と南部は平野が広がり、市役所から概ね4km圏内に収まるが、北部は大半が山地。

【交通特性】

- ・ 大阪府内を結ぶ地域幹線軸が縦横に交差しており交通条件に恵まれている。
- ・ 鉄道は3社が運行しており、大阪市内や京都市内、大阪国際空港にアクセス。
- ・ 近年、JR総持寺駅や新名神高速道路が整備され、利便性が向上。

【主要施設の分布】

- ・ 市内南部地域に施設が集中。

【高齢化率】

- ・ 大阪府平均と比較すると茨木市内の高齢化率は低いものの、今後10年間でさらに高齢化が進行するものと推計されている。
- ・ 市内では北部地域で特に高齢化率が高い。

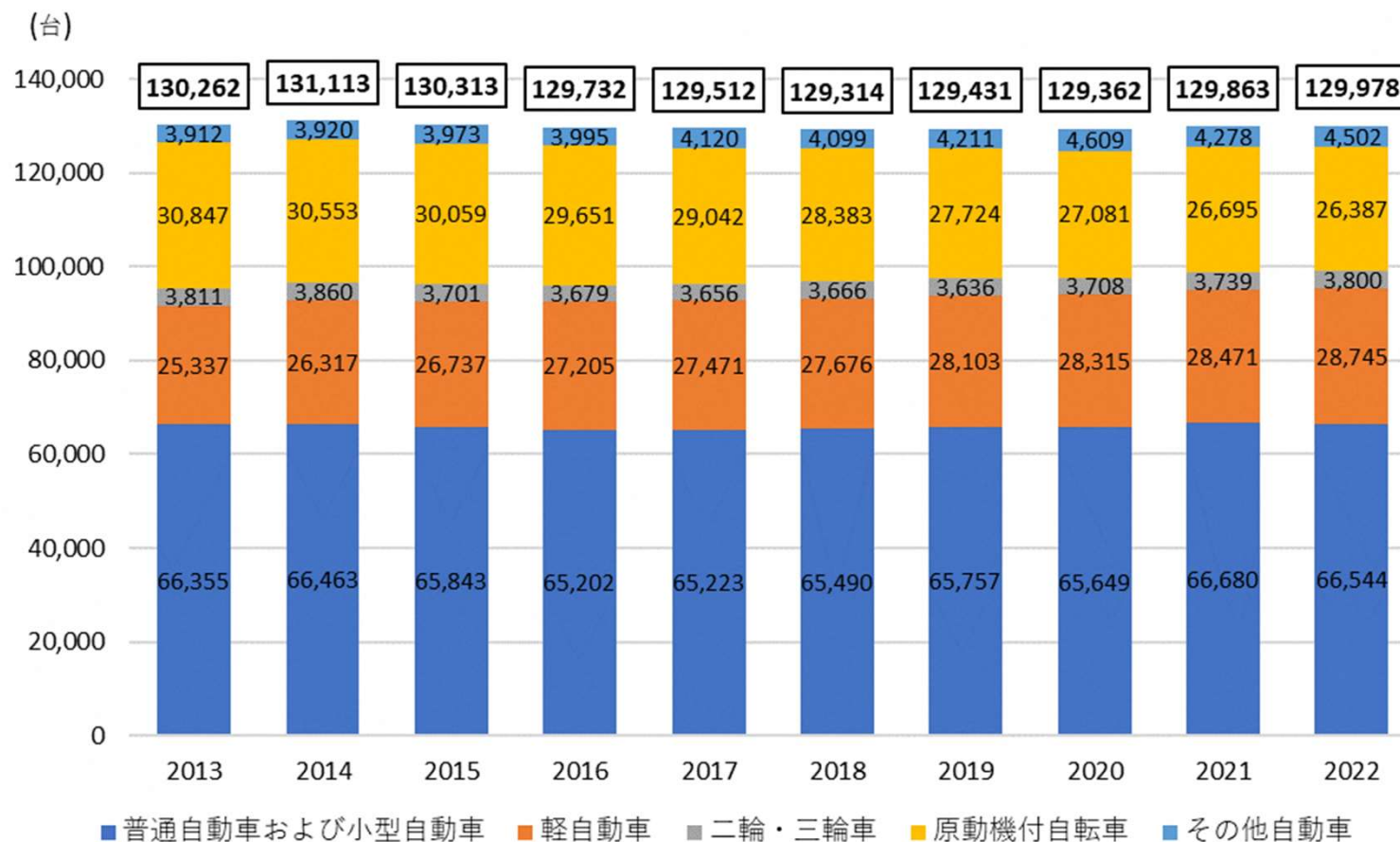
【通勤・通学流動】

- ・ 通勤者・通学者の6割以上が市外に通勤・通学している一方で、他市から茨木市への就業者・通学者も多い。

2. 茨木市の交通について

(1) 自動車保有台数

- ◇自動車保有台数は、普通自動車及び小型自動車は約67,000台でほぼ横ばいで推移。
◇軽自動車は2022年時点で約28,000台となっており、増加傾向にある。



※普通自動車は普通乗用車・小型乗用車・普通トラック・小型トラックの合計

軽自動車は四輪乗用・四輪貨物の合計

二輪・三輪車は軽自動車に分類されるものの内、二輪・三輪の合計

原動付自転車は排気量125cc以下のもの全ての合計

その他自動車はバス・特殊用途車・二輪の小型自動車・小型特殊自動車の合計

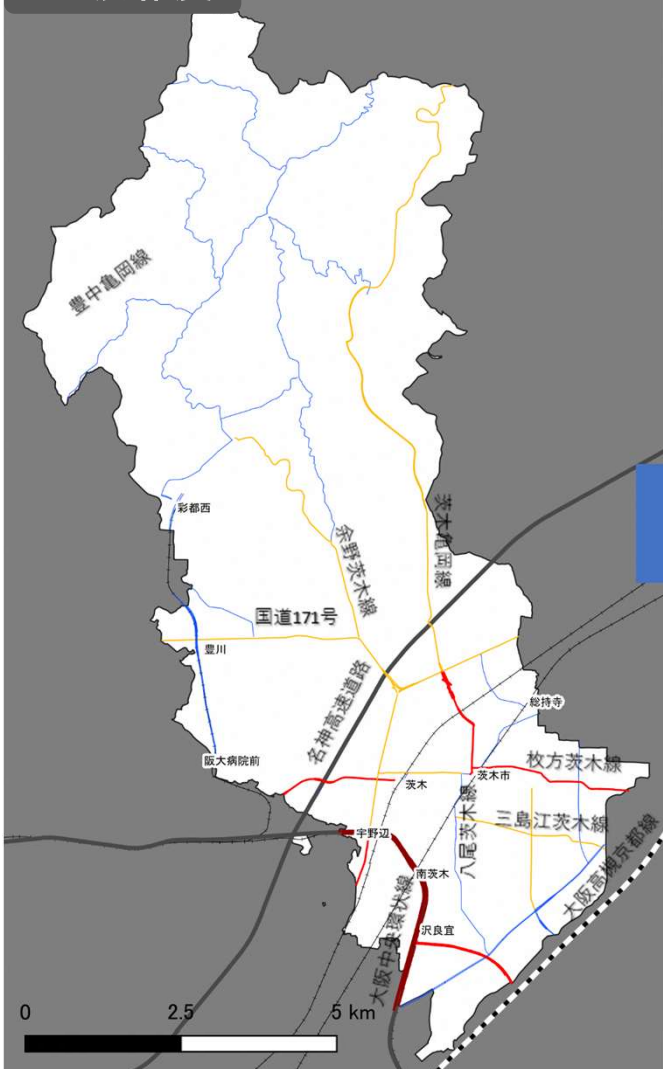
出典：茨木市統計書

2. 茨木市の交通について

(2) 道路の混雑度

- ◇中心地域及び南部地域の道路で、混雑度が1.0以上（ピーク時は混雑）の路線が多数存在。
- ◇混雑度は改善傾向にあるものの、国道171号やJR茨木駅と阪急茨木市駅を結ぶ枚方茨木線等では混雑度が依然として高い。

H22混雑度



R3混雑度



凡例

混雑度

- ～ 1.00未満
- 1.00 ～ 1.25未満
- 1.25 ～ 1.75未満
- 1.75 ～

施設

- ◎ 市役所

鉄道

- 東海道新幹線
- + + + 其他鉄道

行政界

- 行政界

■混雑度の目安

混雑度	交通状況の推定
1.00未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.00 ～ 1.25	昼間12時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時）ある。何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25 ～ 1.75	ピーク時間のみの混雑から日中の連続的混雑への過渡状態。
1.75以上	慢性的混雑状態。

2. 茨木市の交通について

(3) 公共交通空白地

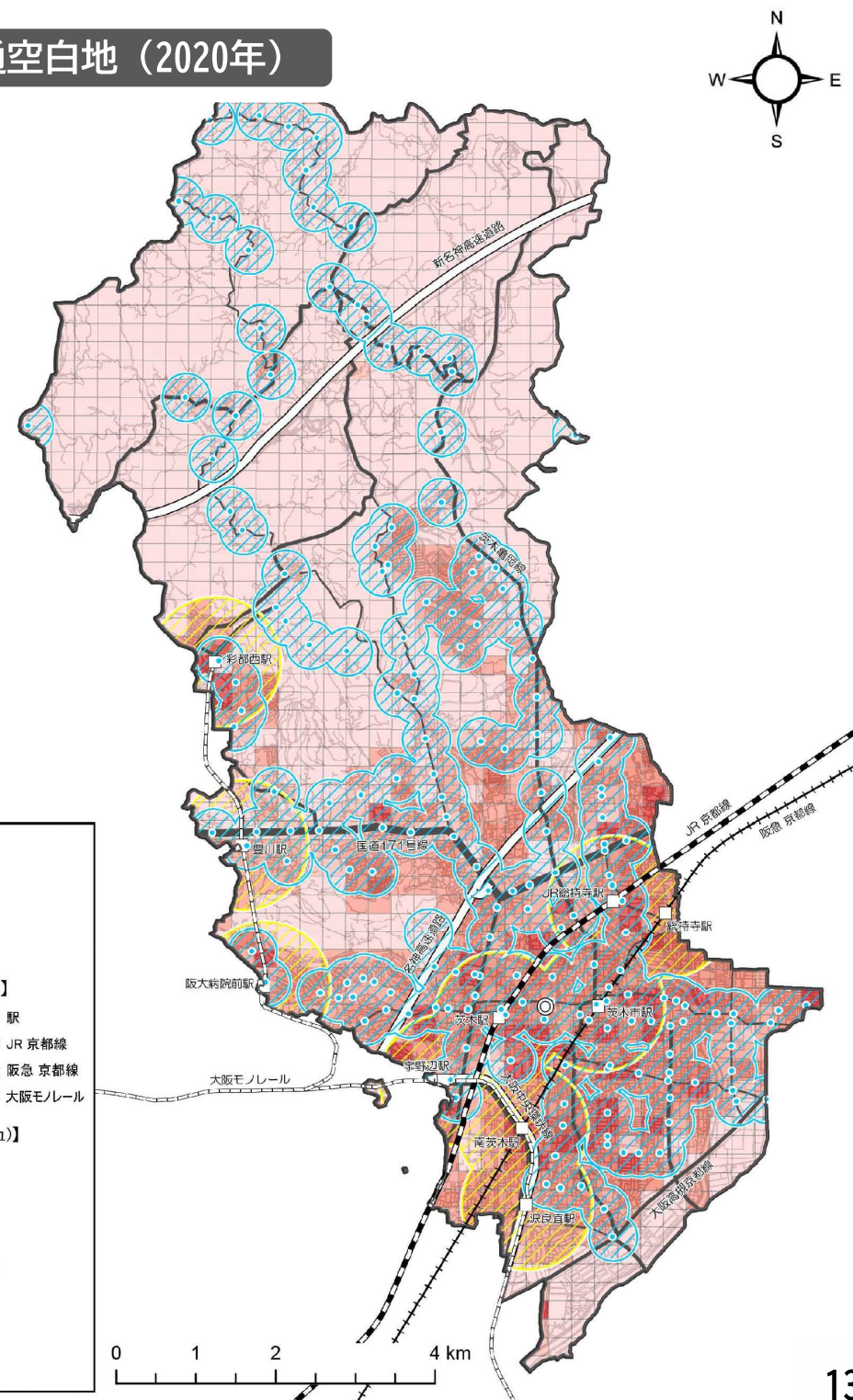
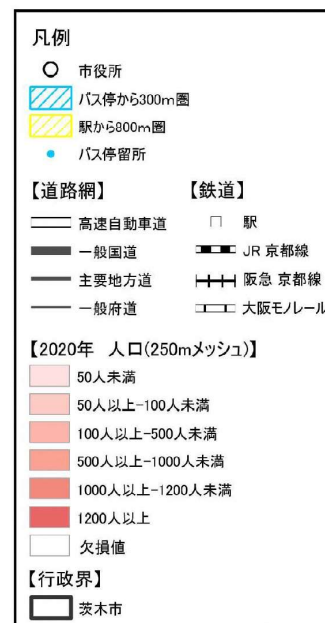
◇本市の2020年時点の公共交通カバー圏域のカバー率は86%となっている。

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口カバー率 (%)
駅から800m範囲	13.69	142,185	49%
バス停から300m範囲	32.30	203,116	71%
公共交通カバー圏域	37.53	246,863	86%
茨木市	76.52	287,730	—

※公共交通カバー率 = 鉄道・バス停徒歩圏内の居住人口/総人口
 鉄道駅については半径800m、バス停については半径300mを徒歩圏内とし、
 徒歩圏内に居住する人口を都市の総人口で除して算出

出典：R2国勢調査

公共交通空白地（2020年）



2. 茨木市の交通について

(4) 市が実施している移動支援

	実施主体	事業名	支援内容	概要
1	茨木市障害福祉課	茨木市移動支援事業	委託	一人で外出が難しい障害者（児）が外出するときに、ヘルパーがついて移動の介助や身の回りの支援を行う。 (1) 社会生活上必要不可欠な外出の介護サービス。ただし、通勤、営業活動等の社会経済活動に係る外出、通年かつ長期にわたる外出及び社会通念上の適当でない外出を除く。 (2) 余暇活動等の社会参加のための外出の介護サービス
2	茨木市障害福祉課	茨木市重度障害者福祉タクシー料金助成事業	補助金等	【対象者】身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている方 ・利用券1枚当たりの助成額は、500円（消費税等含む。）を限度とする。ただし、タクシーの乗車料金が500円に満たない場合は、乗車料金を助成額とする。 ・利用枚数は、1乗車につき、乗車料金が1,000円未満の場合は1枚、乗車料金が1,000円以上の場合は2枚までとする。 ・乗車料金が助成額を超える場合の乗車料金と助成額との差額は、利用者の負担とする。 ・1カ月あたり4枚で、申請付きからの当該年度分を一括交付する（最大至急枚数は48枚）。
3	茨木市長寿介護課	茨木市高齢者福祉タクシー料金助成事業	補助金等	【対象者】おおむね65歳以上の方で要介護認定を受けている方 ・利用券1枚当たりの助成額は、500円（消費税等含む。）を限度とする。ただし、タクシーの乗車料金が500円に満たない場合は、乗車料金を助成額とする。 ・利用枚数は、1乗車につき、乗車料金が1,000円未満の場合は1枚、乗車料金が1,000円以上の場合は2枚までとする。 ・乗車料金が助成額を超える場合の乗車料金と助成額との差額は、利用者の負担とする。 ・1カ月あたり4枚で、申請月からの当該年度分を一括交付（最大支給枚数は4月申請者の48枚）
4	茨木市子育て支援課	茨木市多胎妊産婦等支援事業	委託	多胎児を妊娠中または多胎児を養育している家庭において、外出等移動時に支援担当員を派遣し、外出補助を行う。
5	茨木市子育て支援課	茨木市障害児通学支援事業	委託	小学校1年生以上の屋外等での単独移動が困難な障害児のうち、保護者等の病気その他やむを得ない理由により適切な通学の支援を受けることができないものに自宅と学校の間の移動の支援を行う。 ※対象となる学校は茨木市立学校及び大阪府立特別支援学校 ※令和2年度より事業開始
6	茨木市交通政策課	茨木市地域バス路線運行事業	補助金等	市山間部において、通学等に必要なバス便の運行に対する補助を行い、路線バスを維持している。車作線（千提寺口～車作間）

2. 茨木市の交通について

(4) 市が実施している移動支援

	実施主体	事業名	支援内容	概要
7	茨木市学務課	茨木市山間部中学校通学用バス運行事業	委託	・山地部に居住しており、児童等が通学する学校の校長がバス通学を許可した児童等の保護者 ・最も経済的かつ合理的と認められる通学方法によって購入したバス定期券実費額の3分の1を補助
8	茨木市施設課	茨木市立忍頂寺小学校児童通学用バス運行事業	委託	大字大岩に居住する児童が茨木市立忍頂寺小学校に通学するため利用する茨木市立忍頂寺小学校児童通学用バスを、路線バスの運行が見込まれない区域において運行する。(往路) 的田→大岩郵便局前→大岩→忍頂寺小学校(復路) 忍頂寺小学校→大岩 →大岩郵便局前→的田
9	茨木市学校教育推進課	茨木市支援学校児童及び生徒の臨時的通学措置	その他	概要：市内に居住し、大阪府立茨木支援学校、高槻支援学校、摂津支援学校へ通学する児童及び生徒が緊急の事情により、通常の方法による通学に著しく困難が生じた場合において、茨木市教育委員会の借り上げタクシーにより児童及び生徒を送迎する通学措置であり、対象者にタクシー乗車券を交付する。 対象者：通学バス停留所から500メートル以上の距離に居住する者。 移動範囲：自宅から通学バス停留所までを基本とする。
10	茨木市学校教育推進課	茨木市児童生徒の通学支援タクシー料金助成	その他	概要：通学において、保護者の付き添いを必要とする医療的ケア等が必要な児童生徒に対して、通学支援タクシー料金の一部を助成することにより、保護者の送迎負担を軽減し、もって児童生徒の通学の保障を図る。 【対象者】 (1) 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和3年法律第81号）第2条第2項に規定する医療的ケア（第3号及び第4第1号において「医療的ケア」という。）が必要な歩行困難等の重度肢体不自由児童生徒 (2) 歩行困難等の重度肢体不自由児童生徒（前号に掲げる者を除く。） (3) 保護者の付き添いを必要とする医療的ケアが必要な児童生徒（前2号に掲げる者を除く。） 移動範囲：自宅から学校まで
11	茨木市交通政策課	茨木市高齢者運転免許証自主返納支援事業	補助金等	・阪急バス株式会社が発行する交通系ICカード高齢者専用定期券の新規購入もしくは更新購入に係る費用のうち6,000円の助成 ・西日本旅客鉄道株式会社が発行する交通系ICカード「ICOCA」（カード発行預り金が500円及び利用金額チャージ分が5,500円）1枚の交付

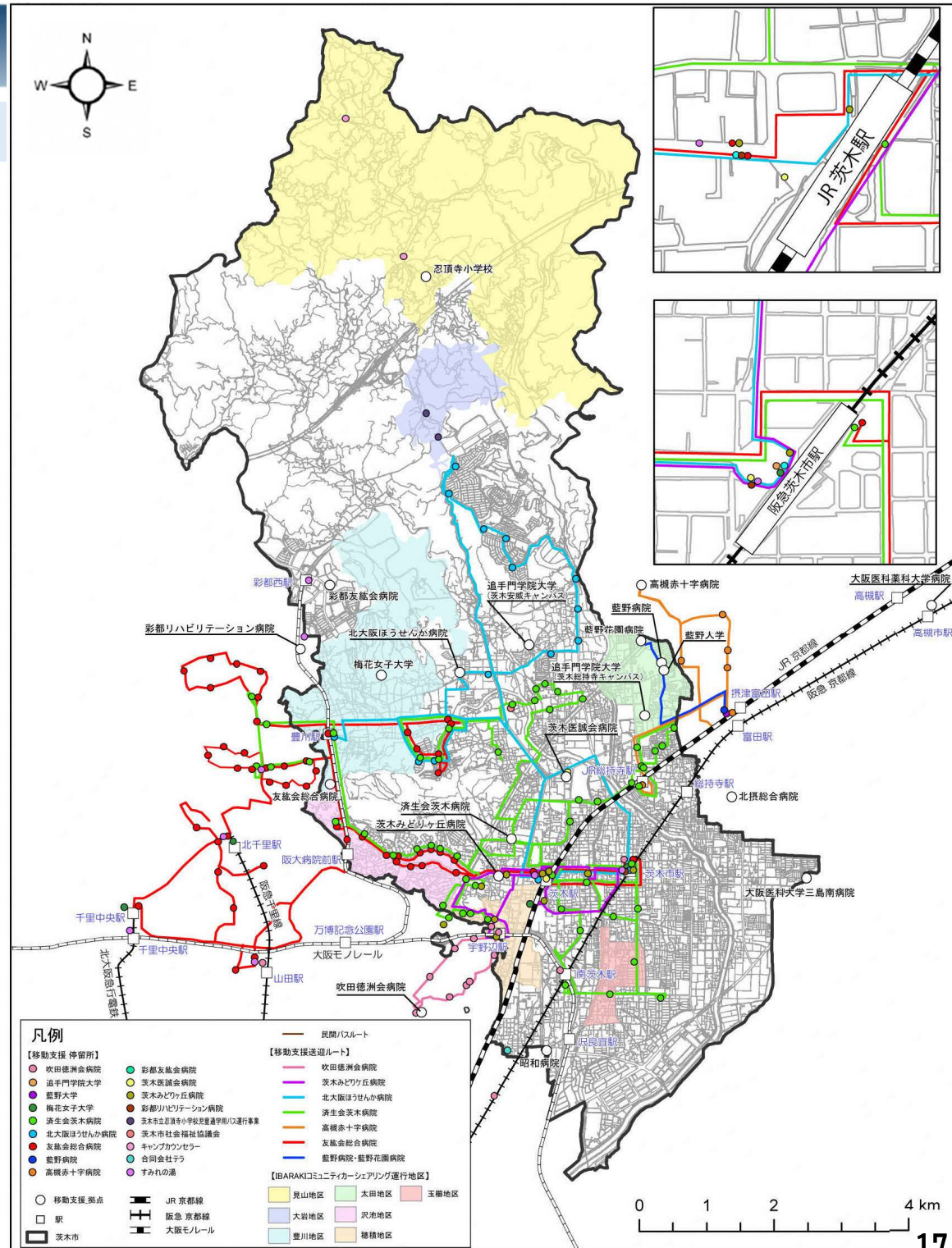
2. 茨木市の交通について

(5) その他の移動支援

	実施主体	事業名	支援内容	支援対象	概要
1	市内 4事業者	福祉有償 運送事業	直営	あらかじめ登録した会員及びその付添人とし、会員は、以下に捧げる者のうち単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者でなければならない。 ・介護保険法に基づくよう支援又は余殃介護認定を受けている者 ・身体障害者福祉法に基づく身体障害手帳の交付を受けている者 ・肢体不自由者、内部障害、精神障害又は知的障害により、単独では公共交通機関を利用することが困難な者 等	福祉タクシー等による輸送サービスが十分提供されていない地域において、道路運送法第79条の国土交通大臣の登録を受けたNPO法人等が、たんどくで公共交通機関を利用できない高齢者や障害者の方々などに対して、有償（営利とは認められない範囲の対価）で行う、自家用自動車による個別輸送サービス
2	茨木市社会福祉協議会及び 地区福祉委員	IBARAKI コミュニ ティ・ カーシェ アリング	その他	子供から高齢者までのすべての住民	・社会福祉協議会が車を確保し、地区福祉委員会に貸し出し、福祉委員会同士で車をシェアする。 ・確保台数は2台。山間部1台（5人乗り）、市街地1台（8人乗り）。 ・車の活用の仕方については各福祉委員会で検討。 ・駐車場やシェアの方法については、社会福祉協議会と参加希望地区が一緒に検討。
3	友紘会総合病院	送迎バス	その他	患者やその親族、面会者、病院関係者	定時定路線で無料の送迎バスを運行
4	北大阪ほうせんか病院及び ほうせんか病院	送迎バス	その他	患者やその親族、面会者、病院関係者	定時定路線で無料の送迎バスを運行
5	茨木みどりヶ丘病院	無料シャトルバス	その他	患者やその親族、面会者	定時定路線で無料の送迎バスを運行
6	済生会茨木病院	無料送迎バス	その他	患者やその親族、面会者	定時定路線で無料の送迎バスを運行
7	藍野病院	送迎バス	その他	患者やその親族、面会者、病院関係者	定時定路線で無料の送迎バスを運行

2. 茨木市の交通について

(参考) 市内の移動支援網



出典：移動支援実施主体HP及びヒアリング結果

2. 茨木市の交通について

(6) 企業等の送迎交通実態

◇送迎バスの件数は、阪急茨木市駅西口の平日で299件と最も多く、次いでJR茨木市駅西口の平日で253件と多い。

◇全体的に平日の方が多くなっており、通勤や通学、病院関係の送迎が多い。

茨木市松ヶ本町バスターミナル

利用可能日数	358 日
利用企業数	8 社
日平均利用便数	128 便

- ・開場時間：午前6時から午後12時まで
- ・休場日：12月29日から翌年1月4日まで
- ・期間：令和4年4/1～令和5年3/31



茨木市上穂東町バスターミナル

利用可能日数	291 日
利用企業数	13 社
日平均利用便数	85 便

- ・開場時間：午前7時から午後7時まで
- ・休場日：日曜日、祝日及び12月29日から翌年1月3日まで
- ・期間：令和4年4/1～令和5年3/31



No.5_大阪モノレール彩都西駅

	平日	休日
件数	204	129
企業数	22	12
目的	通勤・病院	通勤・病院

No.1_JR 茨木駅西口

	平日	休日
件数	253	212
企業数	56	34
目的	通勤・病院	通勤・他送迎

No.2_JR 茨木駅東口

	平日	休日
件数	80	55
企業数	21	9
目的	通勤・他送迎	通勤・他送迎

No.3_阪急茨木市駅西口

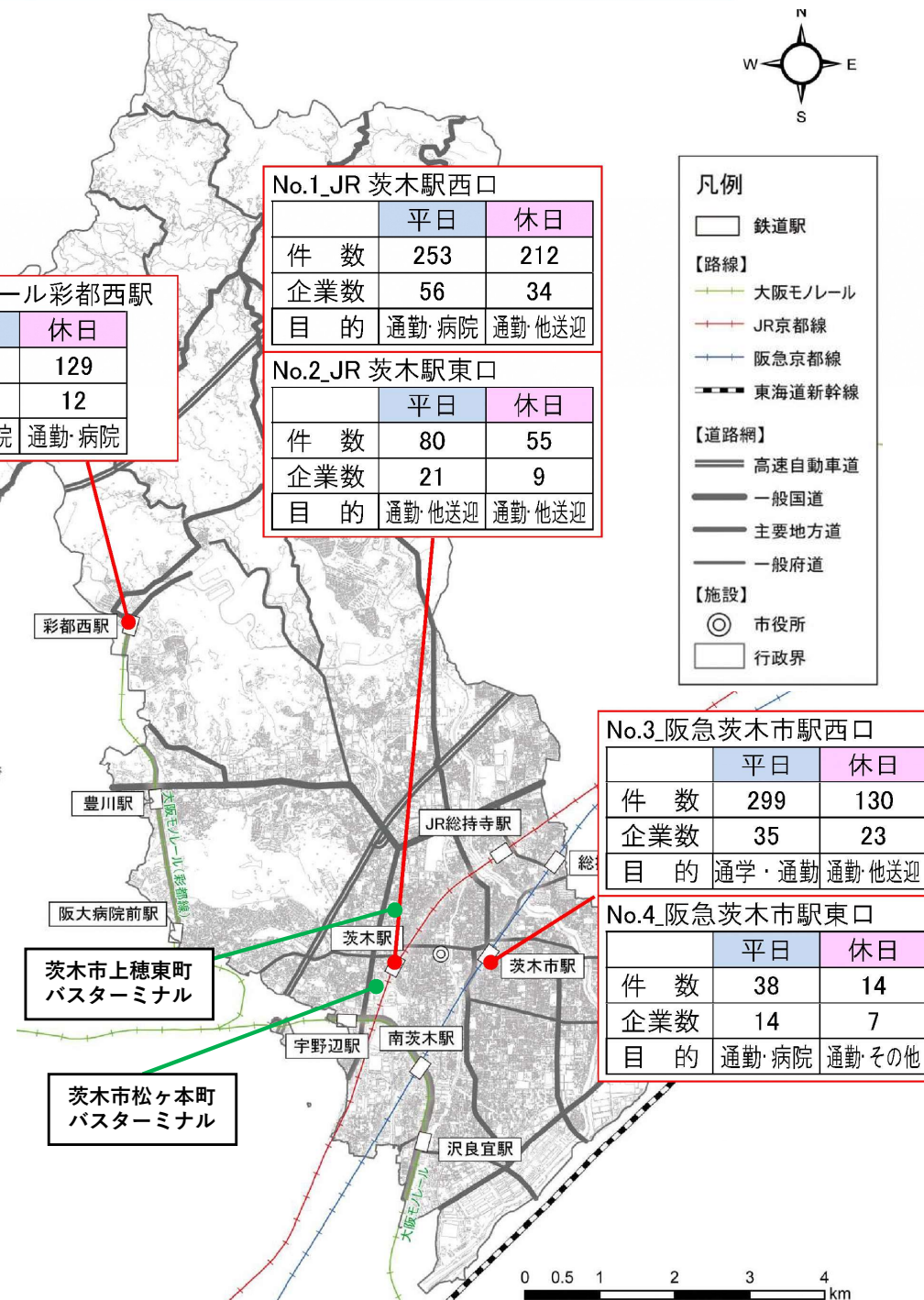
	平日	休日
件数	299	130
企業数	35	23
目的	通学・通勤	通勤・他送迎

No.4_阪急茨木市駅東口

	平日	休日
件数	38	14
企業数	14	7
目的	通勤・病院	通勤・その他

凡例

- 鉄道駅
- 【路線】
 - 大阪モノレール
 - JR京都線
 - 阪急京都線
 - 東海道新幹線
- 【道路網】
 - 高速自動車道
 - 一般国道
 - 主要地方道
 - 一般府道
- 【施設】
 - 市役所
 - 行政界

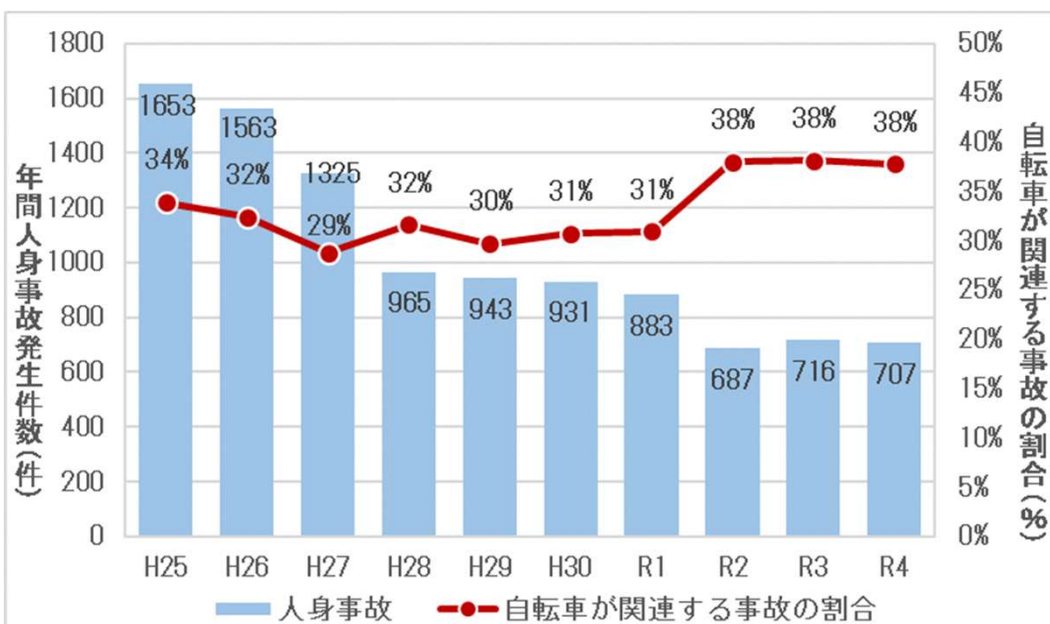


2. 茨木市の交通について

(7) 交通事故

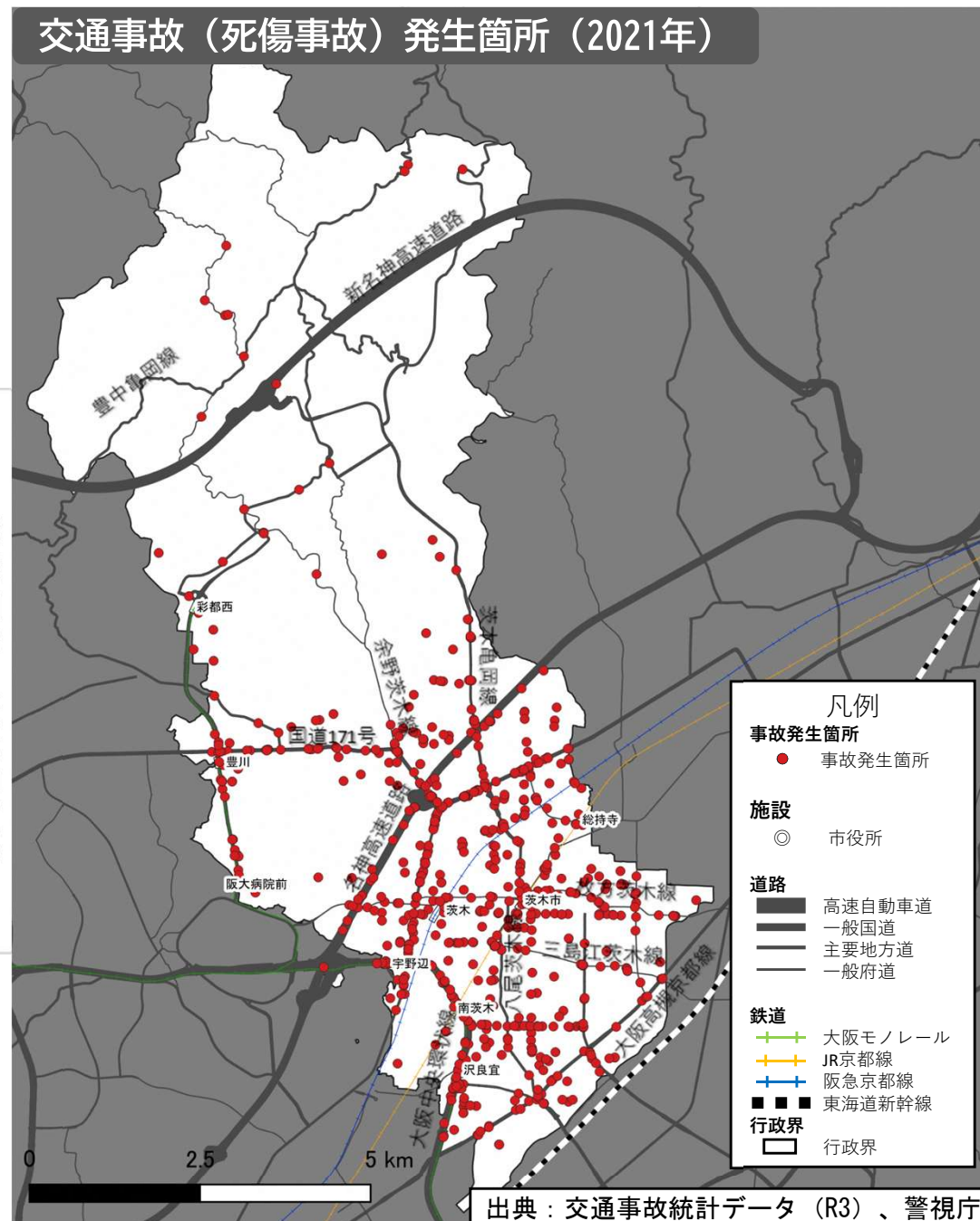
◇茨木市内の交通事故発生件数は減少傾向にあるが、自転車に関連する割合は増加傾向。
◇市の南部地域において、交通事故が多く発生している。

人身事故発生件数の推移



資料:大阪府茨木市警察署、茨木市交通安全協会

交通事故(死傷事故)発生箇所(2021年)



出典: 交通事故統計データ (R3)、警視庁

(8) 茨木市の交通まとめ

【自動車保有台数】

- ・ここ10年、普通・小型自動車台数は横ばいだが、軽自動車台数は増加傾向にある。

【道路の混雑度】

- ・道路整備の進展等により市全体の傾向として混雑度は改善傾向にあるものの、国道171号等においては依然として混雑度が高い状況。

【公共交通空白地】

- ・2020年時点の公共交通カバー圏域は86%、人口カバー率は87%と高い水準。
- ・市内南部地域は概ね全域カバーされているものの、北部地域におけるカバー率がやや低い。

【移動支援施策】

- ・市が主体となった様々な移動支援策を実施中。
- ・福祉有償運送事業や送迎バス等、民間が主体となった移動支援策も展開されている。
- ・企業等の送迎バスも多く、JR茨木駅や阪急茨木市駅では多数の送迎バスが発着している。

【交通事故】

- ・茨木市内の交通事故発生件数は減少傾向。